

Eボートを用いた 水上救援訓練in桜島



NPO法人 桜島ミュージアム

目的

1. 災害時の行動に結びつく経験をさせる
2. 災害時において最も重要なのは人の力であることを伝える

方法

1. Eボート(ゴムボート)を用いて水上救援訓練を行う
2. 児童が助ける側、先生が助けられる側を体験する

Eボートとは

誰でも簡単に水と親しむことのできるボートとして開発された
10人乗りの手漕ぎ式ゴムボート



- 川やダム湖などの水辺で人々が交流(Exchange)
- 水辺や流域の環境を見直す(Environment)
- エコライフを促進させる(Eco-life)
- 川・海体験の入門編・入り口(Entrance)
- 子どもからお年寄りまで、誰でも乗れる(Everybody)
- 気軽に乗れて、操作も簡単(Easy)
- みんなで楽しく川・水辺を楽しめる(Enjoy)
- 水辺の素晴らしさを体験する(Experience)
- 青少年の教育にも活用(Education)
- 水害や事故等の緊急時対応を身に付ける(Emergency)
- その他、水辺でいろいろな「E」ことを

Eボートとは

誰でも簡単に水と親しむことのできるボートとして開発された
10人乗りの手漕ぎ式ゴムボート



通常はレクリエーションやレジャーとして使われる

Eボートは安定性が高く、誰でも気楽に簡単に乗れる
(カヌーやレガッタは専門性や競技性が強いため、初心者が交流するには限界)

Eボートとは

誰でも簡単に水と親しむことのできるボートとして開発された
10人乗りの手漕ぎ式ゴムボート



水害時の救援ツールとしても注目されている

水害時には電線等の様々な障害物のためにエンジン付ボート
が使えず、手漕ぎの大型ボートが水害救助には極めて有効

プラン概要

- Eボートに先生・児童が乗り、ボート遊びを楽しむ
- 先生が海に飛び込み、それを児童が救助する体験を行う
- 防災関係者にEボートを災害救助ツールとして紹介する



予行演習(打ち合わせ)

- ・ NPOのスタッフ
- ・ 学校の先生
- ・ 急流水難救助員 (RESCUE3 SRT-2)
- ・ 地元消防団



組立手順の確認

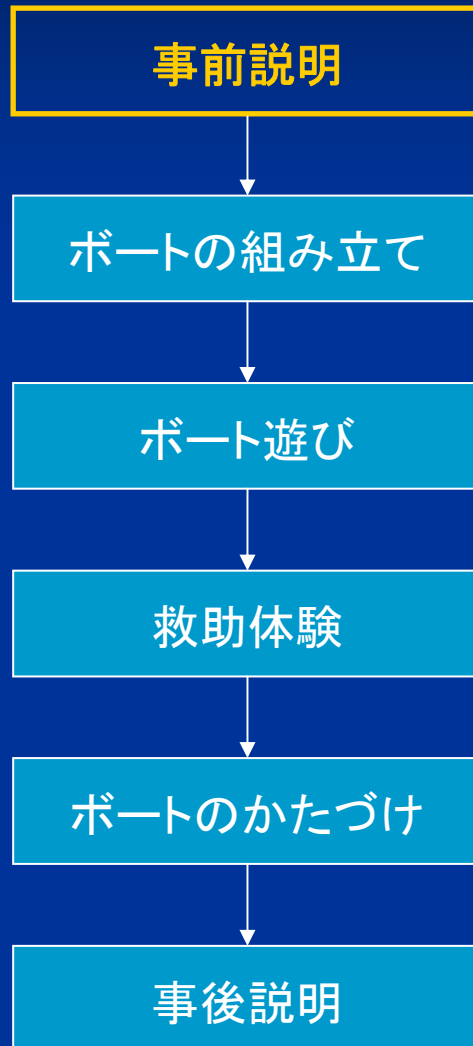


プラン内容の検討



予行演習

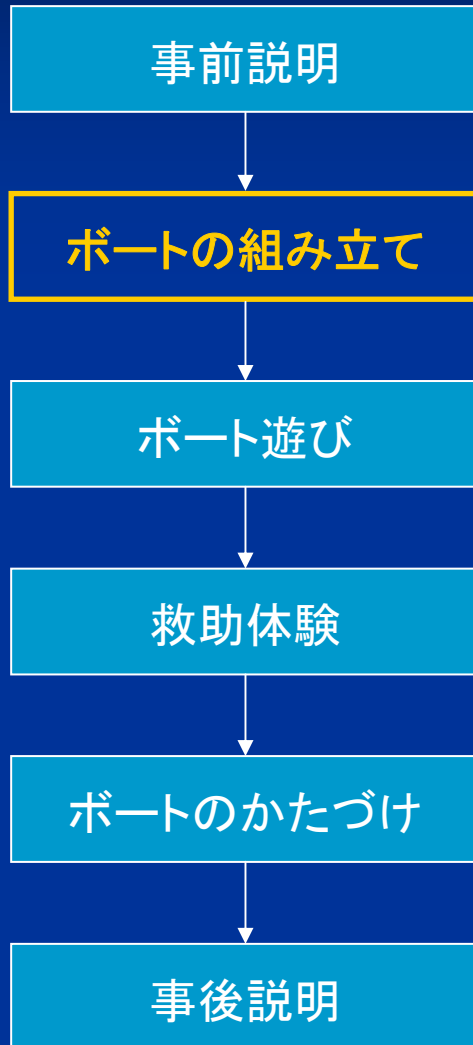
プラン内容



1. 桜島が大噴火する恐れのある場合は、避難港より島外脱出する防災計画がある
2. 災害時には何が起きるか分からないので、最後は自分の力が頼りである



プラン内容



←ボート2艇分でこれだけ
(宅急便で送れます)

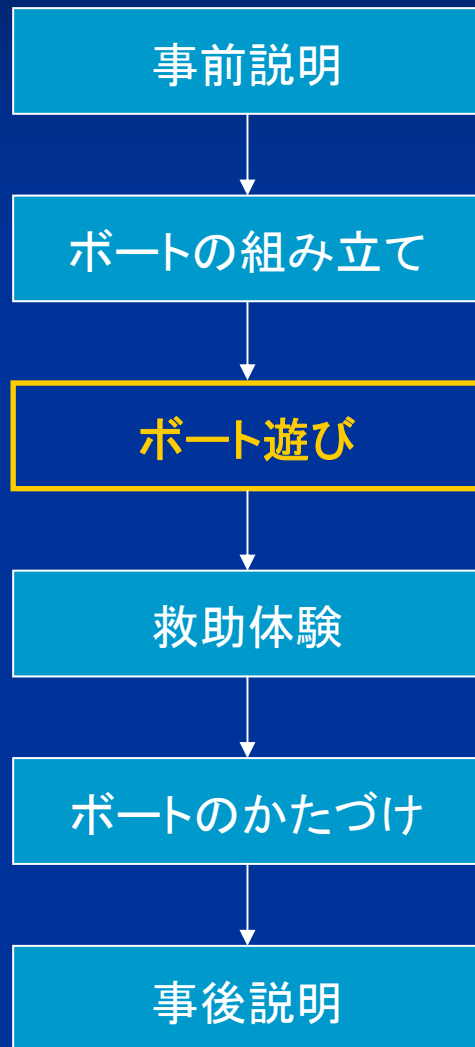
組み立て時間は約20分



紅白で競争だあ！



プラン内容



注意事項:

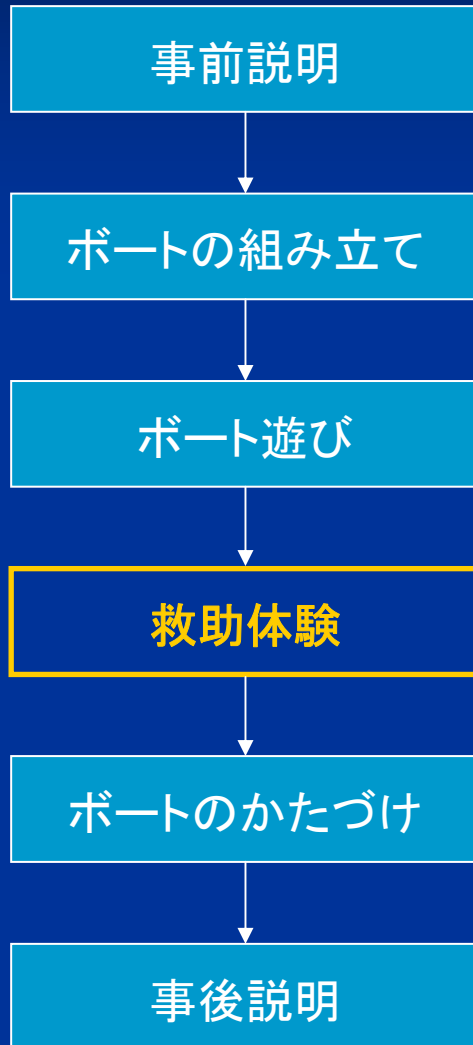
1. ふざけない
2. ボートの上で立たない
3. ライフジャケットは腰を締めていることが重要
4. みんなで力を合わせて
5. 楽しみましょう!



よーし出発だあ!

監視船(小型船舶)1艇と
急流水難救助員のカヤック1艇
がサポート

プラン内容



1. 先生が海に落ちる

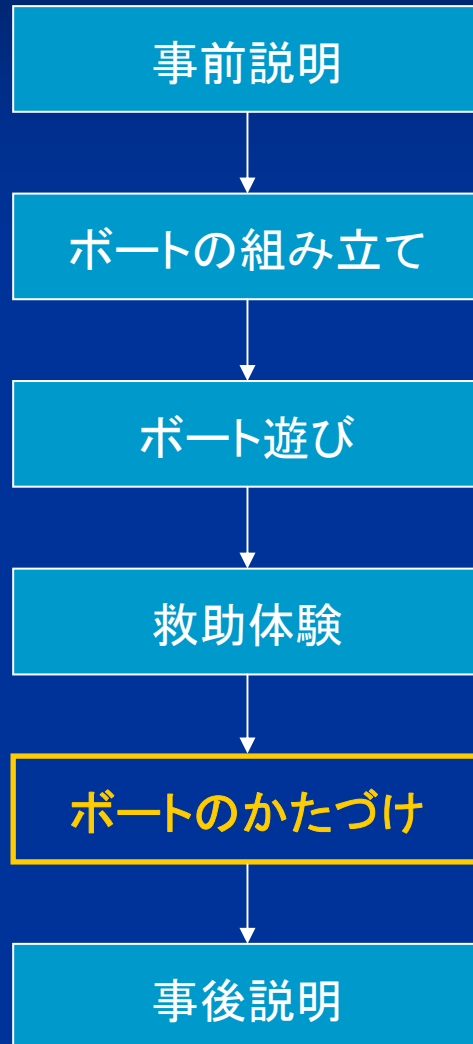
2. パドルで引き寄せる



3. ライフジャケットの肩の部分
を掴み、救助を体験



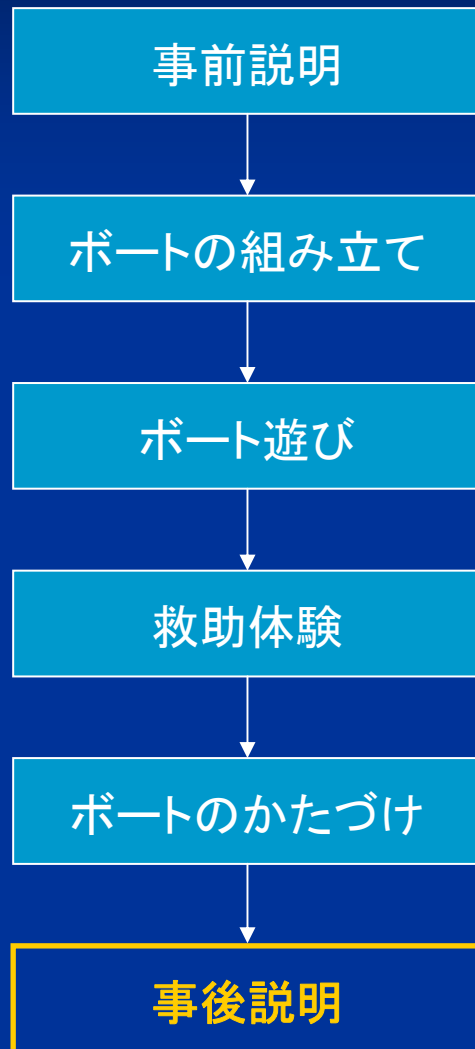
プラン内容



空気を抜いて折りたたむだけ

かなり簡単(約10分)

プラン内容



今日体験したことは桜島
以外でも生かします。

- ・ ウォータースポーツ
 - ・ 都市での洪水
- など

ライフジャケットがない時は
腕ではなく、脇の下、内股、
腰のベルト、などをつかんで
救助します。



ありがとうございました！

まとめ

- 遊びの要素を取り入れ楽しみながら学ぶ機会を提供
- 通常ではありえない状況(水上救援訓練)を体験



いざという時の行動に結びつく

